

下商物語 ④の四十九

運動会(体育大会)のはなし

本校教諭 林 俊行

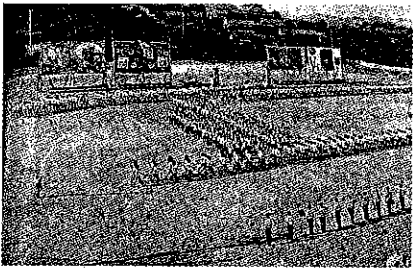
今回は、平成十二年度まで開催された本校の体育大会について紹介したいと思います。明治時代から実に通算九十五回開催されたこの行事は、古くは運動会(第四十五回、昭和二十五年開催)まで運動会、それ以降は体育大会として地域の行事として市民の皆様に注目されていたようです。参考までに戦後まもなく今ほどの娯楽がなかった時代には、正門付近に書店が数多くあったとの記録もあり市民の皆さんが下商運動会を待ち望んでいたとのことでした。

今回は、平成十二年度まで開催された本校の体育大会について紹介したいと思います。明治時代から実に通算九十五回開催されたこの行事は、古くは運動会(第四十五回、昭和二十五年開催)まで運動会、それ以降は体育大会として地域の行事として市民の皆様に注目されていたようです。参考までに戦後まもなく今ほどの娯楽がなかった時代には、正門付近に書店が数多くあったとの記録もあり市民の皆さんが下商運動会を待ち望んでいたとのことでした。

- ① 四組(青色) 編成 昭和二十八年まで
全校生徒を仁組(赤)、義組(紫)、礼組(緑)、智組(黄)に編成
昭和二十七年からは定時制生徒も参加したようです
- ② 学友団別の四組(五組)編成 昭和二十九年まで
仁組(赤) 山陰・生野地区、義組(紫) 彦島・関西・北九州地区、礼組(白) 向山・
- ③ 桜山・名池・玉江地区、智組(黄) 山陽・文開・養治地区、定時制(緑)
ホーム別五組編成 昭和四十六年度まで
ホーム別五組編成 昭和四十六年度まで
ホーム別五組編成 昭和四十六年度まで
- ④ ホーム別四組編成 昭和五十一年度まで
各学年男女四組となつたので男女各二組として四色(赤・紫・白・黄)とした。昭和四十八年度新入生から男女共学となり昭和五十年代にはすべて全学年が男女共学となり抽選で所属を決めた。
- ⑤ 四軍団編成(東・西・南・北) 平成十年度まで
一軍団は各学年の二組で編成した。ホーム対抗意識が旺盛となった。

⑥ 生徒会主催で学年対抗戦(三色)形式に 平成十二年度まで
大会種目は、昭和二十年代の話題の中心は、「仮装行列・各部対抗百足競争・十種競技」などであり、その後、仮装行列から恩師を生徒の騎馬に乗せて走る「仰げば尊し」となつたようです。この戦後の時代は、一般市民から本校の運動会が注目され、多くの保護者や一般市民も参加されて終日賑わつたようです。

その後、応援紹介をそれぞれの組(軍団)毎に行い好評を博した時期もあつたようです。昭和三十年前後では全部で五十程度もあり、昭和五十年代には、東海道五十三次(障害物競走)や算盤競争など本校ならではの種目があり、平成の時代には約二十程度となり、最後の二年間は学年対抗・ホームマッチ形式の球技・団体競技へと内容も変わってまいりました。会場の設営は、各組工夫を凝ら



筆者が学生の頃の体育大会

した手作りのアーチを設営していましたが、昭和五十四年度からは鉄骨パイプでアーチを設置するようになりました。筆者も学生当時、近くの山から竹を切り出してクラスの間とアーチを組んだ記憶があります。図柄も当時流行したものをそれぞれ工夫したなかなかの力作であつたと思います。

ところで、平成十三年度から開催されなくなった主な理由としては、全国的に就職試験が十月から九月中旬開催に(昭和六十二年頃から)、全商英語検定が九月最初の日曜日実施となつたことや応援

紹介などで生徒のエネルギーが学校側の思いと違つた方向となり軋轢が生じたことなどがあるようです。

この体育的行事が本校から姿を消して早いもので約二十年近くにもなりますが、九月の始めにお隣の下関西高校が体育大会を今でも開催されている様子を見て懐かしさを感じながらも、近い将来に本校にも体育・文化的二大行事の「体育大会」と「文化祭(下商祭)」が開催されたいと思つています。みなさんはいかがでしょうか。